東邦学園広報

Toho Campus
東邦キャンパス

愛知東邦大学
AICHI TOHO UNIVERSITY

vol.134
2021年（令和3年）7月 発行

発行　学校法人 東邦学園 〒465-8515名古屋市名東区平和が丘三丁目11番地 TEL 052（782）1241　FAX 052（781）0931
HP 東邦学園　愛知東邦大学　東邦高等学校　検索

特集

大学が開学20周年 初の卒業生教員も誕生

（P４～９）

愛知東邦大学卒業生教員第1号となった人間健康学部の芝純平助教（東邦高校卒）

目次

学園100周年事業　高校人工芝グラウンドが完成

東邦高校グラウンドの人工芝化工事が完了。砂ぼこりや水はけの問題も解決し、2021年度から高校だけでなく大学の部活にも利用されています。

AICHI TOHO NEXT CHALLENGE 2030

愛知東邦大学学長　鵜飼　裕之

本年４月に、愛知東邦大学長に就任致しました。100年の歴史と輝かしい伝統を有する東邦学園建学の精神を尊び、愛知東邦大学が「真に良き大学」となるよう、教職員一体となって全力で邁進してまいります。

今から約100年前、スペイン風邪のパンデミックが収束した後の1923年、東邦学園は設立されました。創設者である下出先生が活躍されたその時代は、まさに、石炭と水力を一次エネルギー源とする電気エネルギーの誕生と大量生産の時代を迎えた第二次産業革命と呼ばれた産業社会の変革期でもありました。

そして100年後の現在、世界はICT、データサイエンスの急速な進展によってグローバル化、デジタル化、ソーシャル化が加速し、私たちの生活様式は大きく変わろうとしています。自動車産業において100年に一度の大変革期と言われるように、産業社会は第四次産業革命と言われる一大転換点を迎えています。さらに、未だ終息が見えない新型コロナウイルスパンデミックの経験は、今後、わたしたち人類が、自然界におけるウイルスの存在を改めて認識し、将来にわたりウイルスとの共存関係をも視野に入れた社会を実現していかなければならないことを明示しています。

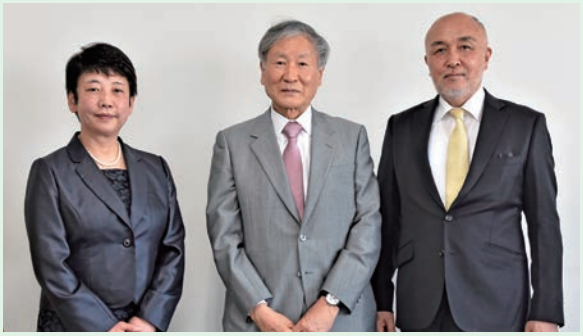
このような変革の時代を迎えるにあたって、愛知東邦大学では、「個を尊重した自由な校風の中で、他者から信頼される人格ならびに能力を有する自立した職業人を育成する」という教育理念を受け継ぎ、つぎの100年をめざした長期ビジョン“AICHI TOHO NEXT CHALLENGE 2030”を掲げました。

「建学の精神を受け継ぎ、きらりと光る独創性を如何なく発揮し、人材育成と学術で地域社会の活力を生む創発大学として新たな時代を切り拓くとともに、個性を磨き、地域・世界へと繋がる共感力を育む人材育成拠点を築く。」その実現のために、学生と教職員が一体となり、それぞれが自らの能力を磨き、独創性を発揮し、そして、互いに共感して繋がる創造性豊かなキャンパスを築いてまいります。

東邦学園同窓生ならびに関係の皆さまにおかれましては、本学の教育研究活動に対して、ご理解、ご支援を賜りますよう宜しくお願いを申し上げます。

６年ぶり学長交代　鵜飼学長が就任

学校法人東邦学園の2021年度辞令交付式が４月１日に行われました。愛知東邦大学の新学長に鵜飼裕之前副学長が就任し、榊直樹理事長から辞令が交付されました。愛知東邦大学の新学長就任は2015年に榊学長が就任して以来６年ぶり。東邦学園では榊理事長、鵜飼学長、藤本紀子東邦高校校長による新体制がスタートしました。



辞令交付式を終えた鵜飼学長、榊理事長、藤本校長（右から）

鵜飼　裕之（うかいひろゆき）

名古屋工業大学工学部計測工学科卒、同大大学院工学研究科計測工学専攻修士課程修了、大阪大学大学院基礎工学研究科物理専攻博士後期課程中途退学。博士（工学、名古屋工業大学）。名古屋工業大学助手、講師、助教授、教授。副学長、次世代自動車工学教育研究センター長、留学センター長などを歴任し、2014年４月から2020年３月まで学長。2020年４月から愛知東邦大学副学長並びに経営学部教授。2021年４月から学長。研究分野は制御工学、電力工学、ロボット工学。1954年生まれ。

新たな「百年の計」を

学園理事長　榊　直樹

学園は２年後に創立100周年を迎えるので、１世紀前のお話を――。

「スペイン風邪」の第一波が襲い始めた1918年９月、日本で10人目の総理大臣に就任したのが、原敬です。南部藩士の出身でありながら爵位を求めず、薩長の藩閥政治に対抗して率いた立憲政友会を主軸に誕生させた原内閣は、「平民宰相」「初の本格的政党内閣」と、当初もてはやされました。

就任早々自らもスペイン風邪に感染し、発熱と体調不良が続く中で打ち出したのが「四大政綱」でした。「国防の充実」「交通機関の整備」……そして「高等教育機関の大拡張」です。明治政府の下で学制が敷かれて義務教育はほぼ行き渡っても、課題は旧制の高校、大学へ入学できない青年が４、５万人もあふれたことでした。原首相は「中学（旧制）を終えて更に高等の教育を受けようとすると、その機関が甚だ乏しい」（1919年１月22日・衆院本会議）と、「高等諸学校創設及拡張計画」を提案したのです。

元老の山縣有朋は「高等遊民の増加を招き、皇室への危険思想につながる」と反対したそうですが説得し、国会での批判には「高等教育は富豪教育のような観があるという御演説である、これは御間違い」（１月31日・同）と、はねつけました。

その結果、官立の旧制高校10校、高等工業学校６校、帝国大学４学部の設置をはじめ、医科５校と商科１校の大学昇格など、各地に高等教育機関が設けられました。私立も1920年に慶應、早稲田、明治、中央など８校が大学（旧制）へ昇格。国費4450万円は一部を大正天皇からの御下賜金で充てました。今の貨幣価値とGDPから見ると、数十兆円に匹敵する巨費でした。

原の国会答弁に「百年の計」の言葉は見つかりません。でも、国勢調査を日本に導入した知略家でもあります。権謀術数の政権運営の末、1921年11月４日、東京駅で刺殺されますが、彼はずっと遠くを見据えていたと感じます。

実は東邦学園の始まり・東邦商業学校も、私学の用地への課税免除など、原が推進した一連の後押し策を背に、1923年誕生しました。愛知県内でも同時期に私学が創立されており、教育に熱意と財を投じようという機運が呼応したのでしょう。

私たちは先人の努力を１世紀享受し、人を育ててきました。これからの社会の猛烈な変化を覚悟しつつ、新たな「百年の計」も地平をしっかり見通したいと思います。

令和の「信頼される人」を目指して

東邦高校校長　藤本　紀子

日頃は東邦高校の教育にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。コロナ禍２年目の今年度、東邦高校では感染対策をより一層徹底しつつ、ひとつでもひとりでも多く、生徒の笑顔が花開く１年にしたいと、教職員一同、感染予防対策・教育活動に専心する日々です。

さて、東邦高校は建学の精神である「真に信頼して事を任せうる人格の育成」の下で、教育活動を行っています。「信頼して事を任せうる人格」とはどのような人格なのでしょうか。誠実さ、思いやり、強い意志e.t.c…。「信頼される人格」の土台となる素養は普遍的なものである一方、これには時代に要請される側面もあると私は考えています。

VUCAと言われる予測不能な近未来の社会で「真に信頼される人格」とは？東邦高校では、生徒の皆さんがこれからの社会で「信頼される人」として活き活きと自己実現するために必要な資質を、東邦高校の３年間で身につけてもらおうと、私たち教職員は

「目指す生徒像」

1　自分で考え自ら行動する生徒
2　他者と共に歩む生徒
3　強い心で挑戦する生徒

を策定しました。そしてこの生徒像を常に意識してもらえるよう、教室に掲げました。授業・H.R活動・生徒会活動や部活動で生徒の皆さんがこれらの姿を目指しながら、一歩一歩成長できるよう、私たちも教育活動において新しい挑戦を続けていく所存です。本年度もどうぞご支援をよろしくお願いいたします。

特集

愛知東邦大学開学20周年

小さな大学が刻んだ大きな足跡

記念座談会

20年を振り返る左から榊理事長、中山理事、丸岡、堀学部長と田村学部長（オンライン参加）

愛知東邦大学は2021年度で開学20周年を迎えました。1923年開校の東邦商業学校、1948年開校の東邦高校・中学校、1965年開学の東邦学園短期大学に続いての開学で、間もなく100周年の東邦学園の中では最も若い学校です。2001年４月、経営学部のみでのスタートでしたが、人間健康学部、教育学部も加えた３学部体制に成長し、4000人近い卒業生を送り出しました。20年の歩みを榊直樹理事長の進行で４人の教員に振り返っていただきました。

日本初「地域ビジネス学科」でスタート

榊　３人の学部長の先生方と、短大時代からこの大学をご存知である理事の中山先生に入っていただき、20年を振り返りたいと思います。田村先生はオンライン参加です。最初に中山先生から、短大時代、大学開学前夜のころを振り返っていただけませんか。

中山　着任は1988（昭和63）年です。短大人気が上がっていた時期で、95％が女子、男子は３人しかいない時もありました。雰囲気は明るく、授業中はややうるさいほどでした。私が来る前の話ですが、名古屋オリンピック構想が持ち上がり、平和公園にメインスタジム建設が計画されたので、このキャンパスを売り払い、日進へ移転する話もあったと聞きました。

90年代半ばごろから、女子も４年制大学でなければという時代に変わっていきました。東邦学園でも４年制大学をつくろうという流れになり2001年の大学開学となりました。どういう学部を設けるかの議論では、迷いなく経営系学部でした。学科名の地域ビジネス学科は日本で初めてで、宣伝文句になりました。

（榊補足）名古屋オリンピックは1988年開催を目指してソウルと誘致を競い、1981年のIOC総会で敗れたため、学園は現在地に留まった。

榊　田村先生は2001年４月、開学した時に着任されました。

田村　初代学長である丸山惠也（よしなり）先生に声をかけていただきました。僕がスウェーデン留学中の指導教授の著書を丸山先生が日本語訳にした際、つなぎ役になったのが縁です。名古屋に新しい大学ができることになったので、一緒に自動車産業の研究をしませんかと誘っていただきました。開学当時の大学の雰囲気は、ほんわかとして、とてもよかったです。下出保

雄理事長の時代ですが、教員たちにも声をかけていただき、懐が深い方だなと思いました。

榊　堀先生は人間学部が開設された2007年４月に着任されました。

堀　東邦に来る前は岐阜県大垣市にある短大の幼児教育科にいました。声をかけていただいた時は、名古屋の都会に行ける、四大で、自分の専門である臨床心理学を活かした人間学部の教員になれると喜びました。配属は人間健康学科ではなく、子ども発達学科でしたが、最初の数年は人間健康学科の授業が多いくらいでした。子ども発達学科と人間健康学科の両方の学科の授業を担当したことで、様々な学生と出会うことができました。関わる学生たちが女子短大生から共学の四大生に変わったのも大きな変化でした。

榊　丸岡先生は３学部体制になった2014年に着任されました。

丸岡　前任が高知県立大学という静かな公立大学でしたので、初めての授業の時は、元気の良さには少し戸惑いました。「静かに」と注意してもしばらくするとざわざわする。数年して落ち着いてきましたが、元気な大学を自分の中で受け入れたという感じですかね。

授業形態も板書からパワポ、オンラインへ

榊　教育面、特に講義で工夫やチャレンジをされたことはありましたか。

田村　活気ある授業にしようと、生産管理論、今でいえば生産マネジメント論という科目では、折り紙を作るとかレゴを組み立てる、平和公園に行ってドングリを拾うとかいろんなことをやってみました。管理者としての能力を育てるには、自分の仕事をどう人に伝えるのかはとても大切です。活発な学生たちには体感を通した実習が必要だと直感したからです。学生たちの大半が折り紙作りは幼稚園以来やっていませんので四苦八苦していました。

丸岡　学生たちは黒板に書いたものを書かせるようにしました。静かにもなりましたし勉強にもなったと思います。

堀　私も授業では板書によって、それを書いている学生たちと時間が共有できると思っていました。しかし、数年前から、「パワーポイントの方が見やすいし書きやすい。板書ではなくパワーポイントにしてよ」と言われ、「時代は変わったな」と感じました。

中山　開学後の数年間は、最初にノートの取り方というのをやっていたのを思い出しました。確かに今はパ

出席者（敬称略）

理事　中山　孝男　経営学部教授（元経営学部長）

一橋大学大学院経済学研究科理論経済学及統計学専攻博士課程単位取得満期退学。東邦学園短期時代、S棟（スチューデントホール）が完成した1988年、専任講師として着任。

経営学部長　田村　豊（国際ビジネス学科長）

明治大学大学院経営学研究科博士課程修了。スウェーデン留学を経て東邦学園大学が開学した2001年、経営学部専任講師として着任。

人間健康学部長　丸岡　利則

大阪府立大学大学院社会福祉学研究科修士課程修了。３学部体制がスタートした2014年、高知県立大学社会福祉学部教授を経て人間学部教授として着任。

教育学部長　堀　篤実

金城学院大学大学院人間生活学研究科（博士課程）人間生活学専攻修了。人間学部が開設された2007年、同学部子ども発達学科准教授として着任。2014年、教育学部開設に伴い同学部教授。

司会　理事長　榊　直樹（前学長）

中央大学法学部法律学科。毎日新聞記者、論説委員などを経て2006年に東邦学園に着任。2008年から理事長。2009～2011年東邦高校校長、2015～2021年愛知東邦大学学長。

卒業生数　3815人

（2020年度卒まで。同窓会「邦友会」調べ）

経営学部	2319人
人間健康学部	405人
人間学部	831人
教育学部	260人

榊理事長の質問に短大時代の思い出も語った中山理事

ワーポイントとか、そういう時代になってきたんだなと思います。

堀　学生たちには、いろんな感覚器官を使うと記憶に残るし、身につくと言っています。目で見て、耳で聞いて、手で書くというというのはすごく大事なんだよと言ってきました。ただ、コロナ禍になったこの２年、どれくらい学生の心に残るようなことをオンラインでやれているんだろうというのは、ずっと思っています。これからは、コロナでなくても、ICTの活用はどんどん進むでしょう。IT機器を使った授業と対面の授業の、ハイブリッドな形になるとは思いますが、教員も変わっていかなければならない、と感じています。常に学生たちに、刺激を与えられるようなことができたらと思っています。

全国舞台に立ち始めた学生たち

榊　さまざま努力されたのですね。講義を離れて、印象に残った出来事はありましたか。

中山　20年間、愛知東邦大学も結構、いろんなことをやってきて、いろんな記録が残ったんだなと思います。多彩な学生も入ってきました。基礎演習に入った学生の中には作曲家志望という学生もいました。学生会活動に熱心な学生とか、ゼミの活動では授業時間なんか関係なく活動している学生もいました。軟式野球部が日本一になった時は信じられませんでした。こんな小さな大学で、グラウンドも十分使えないような状態でしたから。

東日本大震災でのボランティアでは、この大学からの参加者が、在学生1000人当たりでは断トツで全国トップになりました。早稲田とかも足元に及ばないくらいで、学内は大いに盛り上がりました。就職合宿も始まり、一晩で目の色が変わるほど効果があった。高校生にも受けて、これがあるから就職がいい大学なんだろうと思われていたのではないかと思います。文部科学省の「就業力育成支援事業」にも採択されました。

榊　2018年度からブランディングをスタートさせ、「オンリーワンを一人に、ひとつ。」をコンセプトフレーズに定めました。イチオシの学生はいますか。

田村　経営学部の２年生だった女子学生２人がビジネスコンテスト「キャリアインカレ」の全国舞台に立った時は嬉しくて、家族で見ていました。１人はいろんな苦労をしながらこの大学を選んでくれた学生で、とても衝撃でした。面接では国公立大学を落ちたが、ここで頑張りたいと言ってくれました。対外的にいろんなことに興味を持ってやっていくような学生が育ってきたわけで、こういう学生が５、６人出てくれれば面白い大学になるだろうなと思いました。

中山　インドネシアとか海外にひょいっと行っちゃう学生も次々に出てきましたね。僕らが学生のころは、外国に行くということは、親の反対を押し切ってもというか、一大決心のいることでしたが、今はひょいと行ってきて経験を積んでくる。ある意味うらやましいです。学生たちにはどんどん羽ばたいてほしい。

授業方法を振り返る丸岡人間健康学部長と堀教育学部長

田村　大学にコミュニケーション力を育てる土台があるのだと思います。キャリアインカレに出場した学生の例もそうですが、いろんな先生方が、悪くいえば口を出すということですが、研究室をみんなで開放し、みんなで支え、育てるというか。そういう体制をつくっていっているような気がします。

榊　教育学部にもいますよね。

堀　子ども発達学科ということもあり、地域に根差し

た職場で、地道にコツコツと、子どもたちや親たちと接している形で働いている卒業生が多いと思っています。教員免許の更新講習では、昨年、人間学部子ども発達学科の１期生(2011年３月卒)が10年目研修に来てくれました。幼稚園と保育園で働いている男子１人と女子２人ですが、男子卒業生は就職してから英語力を磨き、今は東京で、英語に力を入れている子ども園に就職して、すごく充実していますと話していました。女子２人も主任クラスになっていて、実習生もいっぱい受け持っていますよと話していました。学生時代の面影も残しながら、すごく成長したなと思いました。台湾の幼稚園(主に日本人の子)で頑張っている卒業生もいます。

オンライン促進しコロナ禍をプラスの時代に

榊　新型コロナの感染が続く今、オンラインも取り入れながら学生と向き合っています。課題と新たな展望について聞かせて下さい。

丸岡　来年もコロナがなくなる保証はなく、半分の授業はオンラインだと思わなければならないかも知れません。教員たちはスキルアップのため勉強し合うことが必要です。私が資料も盛り込んで一生懸命に動画を作っても、最後の方の課題の所だけを見て早送りして見てしまう学生も多い。

中山　経営学部地域ビジネス学科は、地域発展を担う人材育成を掲げて、最初は名東区との提携とか協働作業とかいろいろやりました。20周年という節目に、地元である名東区、一社、上社、本郷、藤が丘地区のビジネス、企業さんと何か連携できるようなことをもう一度、模索したらいいのではないかと思います。

榊　20年前の原点に帰ったらということですね。田村先生はいかがですか。

田村　2016年にスタートした国際ビジネス学科(IB)は、愛知東邦大学が、地域と国際社会をつなぐという役割を担ったかと思っています。IBへの評価はいろいろあるでしょうが、僕自身は大切な授業に携われて良かったと思っています。中国との付き合いも新しい時代に入るだろうしインターネットを使いながら仕事をやっていくのは当たり前だと思います。今、中国の学生８人にインターネットで授業をしていますが、すごく手軽にコミュニケーションが取れる、違う国の人とコミュニケーションが取れるとてもいい時代に入ったんだと思います。本当の意味でインターナショナルに展開していくにはどうしても、インターネットを使って、いろんな方と関係を作れなければならない。そういう意味では、コロナの時代をプラスの時代に変えていければと期待しています。

堀　先ほど丸岡先生もおっしゃられたとおり、教員側がまだオンライン機能を使い切れていない面もあります。教育学部は公務員、教員の養成に力を入れて来ました。昨年はのべ11人が教員採用試験に合格しました。教育系の企業でICTやAIを活用した教材や教育アプリに関わりたいという学生も出てきています。学生たちをどう育てていくかというのも、時代に合わせながら、変わっていかなければならないのかなという課題もあります。学生一人ひとりの希望や目標にあわせ時代とともに学部の支援も変えていく必要があると感じています。

中山　最後に一言。愛知東邦大学の20年がどうであったかという点ですが、小さい大学ながらやってきたことは結構大きいなということです。

榊　私は大学が歩んだ20年のうち、2006年から15年間関わりました。学長としては６年間です。学生一人ひとりが誇りを持てるよう育てて、社会の様々な分野で活躍できる人材になってもらいたい。苦労した20年間でした。その結果、思いもかけない成長を遂げてくれる学生が現れました。学生の可能性を摘むこと、可能性を信じない姿勢は絶対にいけません。全国で600の私立大学がある中、愛知東邦大学は、中山先生が言われたように、送り出した学生はまだ少なくても、着実に役割を果たしてきたと思います。座談会、ありがとうございました。

オンライン参加の田村経営学部長とともに対談を終えて

乗り越えた壁が自分を守る壁になる
全力で打ち込む学生生活を

人間健康学部助教　芝　純平さん
（2013年人間学部卒）

「学生時代にはなかったL棟が完成し出迎えてくれました」と語る芝助教

開学20年を迎えた愛知東邦大学に、初の卒業生教員がデビューしました。2013年３月に人間学部（2017年から人間健康学部）を卒業、アスリートへのストレングス&コンディショニング（S&C）指導に携わりながら中京大学大学院で研究生活を送った芝純平さんです。８年ぶりに母校に戻り、教壇に立った思いを語っていただきました。

芝　純平（しば　じゅんぺい）
東邦高校時代は軟式野球部のエースとして活躍。2009年に愛知東邦大学経営学部に入学し硬式野球部に入部するも膝を痛め退部。2年生からは人間学部に転部。卒業後3年間、ストレングス&コンディショニングコーチ（略称S&Cコーチ）経験を積み中京大学大学院体育学研究科修士課程を修了。2018年4月から2021年3月まで岐阜県スポーツ科学センター研究員。同年4月から現職。30歳。

――８年ぶりに戻った母校のキャンパス風景は変わっていましたか。

変わっていました。卒業する時はＬ棟（2014年12月竣工）がありませんでした。卒業する時に建設が始まり、足場が組み立てられていて、防音シートが張られていて、「どう変わるんだろう」と思いながら卒業しました。立派なＬ棟がそびえているのに驚きました。食堂も変わった感じがします。学生たちは僕たちのころに比べ、まじめな学生が多い感じですが、もう少し積極性がほしい。ちょっと大人しい感じです。

――愛知東邦大では２年生の時に経営学部から人間学部に転部したんですね。

はい。東邦高校時代に軟式野球部にいたので経営学部ではスポーツマネジメントコースでトレーニングの勉強も出来るかなと思っていました。硬式野球部に入部しましたが、左膝を故障し、１年で退部しました。しっかりした知識に基づいたトレーニングとか、注意してやっていれば防げたのではという思いがありましたので、人間学部に移った２年生からはATTO（愛知東邦大学トレーナー組織）に入り、S&C系の勉強に打ち込みました。硬式野球部で故障した苦い経験からも、現役選手たちの役に立ちたいとも思いました。ATTOでのS&Cコーチ活動で一番多く関わったのが女子サッカー部です。４年生だった2012年には女子サッカーが初のインカレ出場を果たしましたが、キャプテンだった木村麻希さんは東邦高校の同級生でもあり、兵庫県三木市での大会には応援に駆け付けました。

――在学中には2011年に軟式野球部が全国優勝したり、東日本大震災被災地での復興支援ボランティアに学生たちが参加するなど活気があったんですね。

軟式野球部の中心となったのは同世代の河本拓也君ら人間学部３期生たちです。東日本大震災が発生した2011年３月11日は２年生の終わりで、僕は東京の田町

（港区）にあるトレーニング施設で１か月間のインターンシップ最終日でした。帰宅難民になり７時間かけて寮にたどり着きました。大学からの被災地支援ボランティアには参加しませんでしたが、卒業後、岩手県釜石市でボランティアをしました。S&Cコーチを派遣する会社に就職していた2014年、ラグビーチーム「釜石シーウェイブスRFC」のS&Cコーチを１年間しました。かつて、「北の鉄人」と呼ばれ、日本選手権７連覇を遂げた新日鉄釜石のDNAを受け継ぐチームです。釜石はまだ震災がれきが残り岸壁は砕けたまま。90度に曲がったガードレールなど震災の傷跡が残ったままでした。シーウェイブスも地元でボランティアに参加しており、僕も一緒に汗を流しました。

――学生時代に「東海学生アメリカンフットボール１部リーグチームにおける身体特性および体力特性について」という論文をまとめているんですね。

学生時代、名古屋大学アメフト部にS&Cコーチとして関わっていたので卒論にまとめました。東海地区のアメフト部は名城大学が１強で、その後ろが中京大学と名古屋大学。名古屋大学も１部優勝の経験がある強いチームです。東邦高校にもアメフト部があり、部員だった同級生が何人かいて、自分も好きだったので、いろんなルールを教えてもらっていました。僕らの時代は、卒論提出はゼミによって異なり必須ではありませんでしたが、今は基本的には全てのゼミが必須のようです。学生たちにとって、研究の世界が身近になっていることを知りうれしく思いました。

――中京大学大学院修了後の2018年４月から今春まで、岐阜県スポーツ科学センターに研究員として勤務されています。どんな仕事でしたか。

S&Cコーチとして東京オリンピック・パラリンピックに、岐阜県から選手を送り出すことがミッションで、私はパラリンピックに10人を出場させるという目標を掲げた事業のトレーナー統括でした。強化選手たちを、バイオメカニクス（運動力学）研究者や栄養士などと連携してサポートする３年がかりの事業でした。10人は無理でしたが、パラカヌーの２人の出場が決まりました。１人は野球選手だった大学１年生の時、交通事故で脊髄を損傷、最も障がいの重いクラスの日本チャンピオンです。もう１人の選手も14歳の時、交通事故で両足を切断しました。さらに視覚障害者柔道女子選手の出場も内定しました。岐阜メモリアルセンターの中に岐阜県スポーツ科学センターがあり、ここのトレーニング施設に週2回は来てもらい、一緒にパラリンピックを目指してきました。

――貴重な体験でしたね。

パラアスリートと関わる機会は初めてでしたので、３年間でたくさんのことを学びました。どういうトレーニングを組み立てるか、先行研究を調べましたが、全くない状態で、最初は手探りでした。国立スポーツ科学センターでも、パラリンピックのサポートが始まったのはつい最近で、「どうしていますか」と連絡をとりながら取り組みましたが、周囲に優秀な方が多かったので、相談に乗っていただきながら組み立てました。いろんなパラスポーツを見ました。アスリートたちには理学療法士の方がついていることが多いのですが、その人たちはS&C指導を勉強しているわけではありません。S&C指導なくしては競技力は上がりません。

――大学ホームページ教員紹介欄に掲載されている芝先生の「クレド」（信条）は、「乗り越えた壁が自分を守る壁になる」です。どういう気持ちが込められていますか。

だれでも困難とかに直面し、壁にぶち当たると思うんですが、その壁が高ければ高いほど、より多くの知識、技術をしっかり身につけることで、困難を乗り越えていくことになります。そこで蓄積された知識や技術が最終的には自分の考え方を守ってくれる。当然、指導するうえでもプラスになります。そんな思いを込めてクレドとしました。クレドとしたきっかけは大学

トレーニング指導なくして競技力は上がらない

院時代での体験です。まさに重箱の隅をつつくように、指導して下さる先生方に、細かいところまで突っ込まれます。それを僕らはディフェンスというんですが、莫大な知識量と技術量がないと守り切れません。技術、知識をつけて、守りを固めていくということが大事だなと痛感しました。

――学生たちに先輩としてエールをお願いします。

自分が好きなことに取り組むことができるのは何と言っても学生時代です。ぜひ、時間を有効に活用し、やるからには全力でぶつかってほしい。くたくたになって、バタンと倒れて寝てしまうくらいに。

大学、高校、学園Webページをリニューアル

大学入試広報課長　三輪　哲也

2021年5月に本学Webページをリニューアルしました。昨今の新型コロナウイルスによる人々の行動制約は、対面でのコミュニケーションが減少し、オンラインでのコミュニケーションが増加しました。授業においても状況に応じて、対面から、オンラインへの移行をせざるを得ない事態となりました。このような状況の中、さらに多くの情報を配信するべく、Webページのリニューアルを行いました。

Webページでは、受験生向けの情報が主な内容になりますが、新たに「TOHO Stories」と題して、学生の活躍を紹介する記事投稿を開始しました。本学でどのような想いを持ち、どのようなことを学んでいるのか、そしてどのように成長したのかなど、定期的に投稿しています。また、新型コロナウイルスの対応状況につきましても、配信を行っています。

今回のリニューアルは大学と併せて、学園、高校のWebページも同時に行いました。学園のWebページでも学生・教職員のインタビューや学園史も配信しております。こちらも併せてご覧ください。

大学ページ

学園ページ

高校ページには中学生たちからも反響

教頭　渡邉　素幸

2021年４月26日Webページをリニューアルしました。本校をより深く知ってもらうことが目的です。作成にあたっては次の２点を考慮しました。①デザインと写真にこだわりイメージアップすること。②教育内容をよりわかりやすくすること。具体的には、下記の点について熟考しました。

・本校に興味や関心を持ってくれる中学生やその保護者をターゲットとする。
・在校生を紹介する。
・各科、各コースの特徴や学びに加えて、進学実績をブラッシュアップしてお知らせする。
・本校の雰囲気が伝わるWebページにする。
・トップページに限り、ガイドブックに連携したデザインにする。
・知りたいことがすぐに検索できるよう、シンプルなデザインにする。
・Webページのベースカラーを制服のグリニッシュブルーに合わせる。
・東邦の今がわかる。トピックスやお知らせなどを時系列に表現できるようにする。
・スマートフォンで見てもらうことを第一に考える。
・今まで以上に先進的なイメージを持ってもらえるデザインにする。
・在校生向けに、パスワードを必要とするWebページを作る。
・予算を削減する。

リニューアル初日から、多くの方々に訪問していただいています。中学生の皆さんからの資料請求もリニューアル後の１か月で100件近くありました。感謝の気持ちでいっぱいです。コロナ禍で中学生向けのイベントも少なくなり、中学生やその保護者の方々も進学情報について、積極的にWebページを参考にしていると聞いています。

2021年より中学生は、１人１台iPadを配布することになりました。授業では調べ学習も盛んに行われていることでしょう。このタイミングでWebページをリニューアルできたことはICT教育に取り組んできた本校としてイメージアップにつながると思います。

最後になりましたが、製作会社のITPの皆様、イープロの河村さん、赤塚さん、愛知東邦大学の松井さん、柴田さん、東邦高校広報企画室長の平上さん、メディア情報センター長の齊藤先生、進路指導室長の保坂先生、そして青山先生。

他にも原稿に目を通していただきました教職員の先生方。皆様の協力なしでは完成することができませんでした。本当にありがとうございました。

高校ページ

答えが一つでない課題解決に挑む
2年目迎えた国際探究コース

国際交流室長　伊藤　保憲

2月に開催された国際探究コース研究発表会

研究発表会では探究活動での成果を発表

東邦高校が展開する多様な国際交流は、広い視野から地球社会や生命への関心を持ち、世界の多様な文化や価値観を受け止める優しさと柔軟さを育てることや、答えが一つでない地域や地球規模の課題の解決に向けて、自分の考えを発信できる力を持ち、多くの人と一緒に行動できる力を育成することを目標にしています。従来の姉妹校に加え、近年、韓国やドイツの学校とも交流を拡大し、ASEAN各国との交流も徐々に広がりつつあります。このような国際交流教育を背景に、昨年度４月に普通科国際探究コースを新設しました。

国際探究コースは、以下の３つを目標としています。

①世界にある多様な課題に向き合い、仲間とともに解決できる人を育てます。

②異文化に対する関心を持ち、多文化共生社会の一員として役割を果たせる人を育てます。

③物事を様々な角度から見ることで、考えを深め自分の意見をまとめられる人を育てます。

国際探究コースの１年生は、「世界遺産」をテーマとして、世界で起こる多様な問題について知っていきます。多くの世界遺産は環境破壊や、地球温暖化の問題に直面したり、戦争に巻き込まれたりするなど、今、危機に瀕しています。観光地としての世界遺産ではなく、世界課題を知る切り口として世界遺産を教材にしています。

また、２年生では、「模擬国連」を位置づけ、一つの問題について多角的な目を育てることを目標にしています。今年度の２年生の模擬国連のテーマは「捕鯨」としました。日本が批判されている捕鯨問題を俯瞰的に、また多角的にとらえていきたいと思っています。

国際探究コースのカリキュラムの背景には、SDGs（持続可能な開発目標）があります。主には、総合的な探究の時間の中でSDGsに関連するテーマで、グループによる研究活動を行います。昨年の１年生は、世界の貧困問題や、水問題、海洋ごみの問題などをテーマとし、関係する団体を訪問するフィールドワークを含めた研究を行いました。２月には研究発表会を行い一年のまとめを行いました。

国際探究コースでは、探究活動を通して、一面的ではない考え方を身に付けさせたいと考えています。

高校／行事・クラブ活動

人工芝は教室の美化にも貢献

体育科主任　澤田　洋平

100周年事業として、グラウンド改修に伴う人工芝化をしていただきました。以前は雨が降ると実技ができないことに悩まされておりました。しかし、このグラウンドであれば多少の雨でも体育の授業が実施でき、生徒・教員共にやる気をもって取り組めていると感じます。グラウンドの景観は一新され、授業内でのけがのリスクが減ったこと、さらに、グラウンドから教室への土の持ち込みが減り、教室の美化がしやすくなったと担任の先生からも評判です。

人工芝化工事は昨年12月から進められ、３月24日、グラウンド開きの式典が行われました。式典には学園関係者や高校教職員らが参列し、TOHO MARCHING BANDが祝福の演奏を行いました。

3月24日にはグラウンド開きの式典が行われました

記念パレードをするTOHO MARCHING BAND

練習に取り組むサッカー部と軟式野球部

難関大学への合格者続々！

進路指導主事　保坂　秀和

2021年度大学入試は、過去15年間で最も良い進学実績となりました。東邦の取り組みが１つ１つ結果になって出てきています。以下に今春の入試結果を紹介します。(詳しくは高校ホームページをご覧ください)

【文理特進コース】

文理特進コース11期生からは、現役で22人の国公立大学の合格が出ました。また、合格数だけではなく、初めて医学部医学科に現役合格が出ました。地元では愛知教育大学、名古屋工業大学など、中部圏では金沢大学、三重大学、静岡大学、信州大学などの合格もありました。

【普通科】

チャレンジコース、サイエンスコース、人間健康コースからも国公立大学の合格が出ました。愛知教育大学、名古屋工業大学、筑波大学や東京海洋大学にも合格しました。また、私立大学では南山大学や愛知大学などの地元私立大学だけでなく、早稲田大学、慶應義塾大学、同志社大学などの関東関西の有名私立大学に合格するなど好結果を残しています。

【美術科】

筑波大学、金沢美術工芸大学、愛知県立芸術大学などの美術系国公立大学に現役合格しました。過年度生も３人が東京藝術大学に合格しました。芸術界での活躍を目指し、努力を続けています。

次年度入試でも生徒たちが希望する進学先に進められるように、指導していきたいです。

JICAとNHKが企画した「パプリカを歌おう」に参加して

軽音楽部顧問　水谷　光博

東邦高校と東ティモール日本語学校との国際交流行事が３月27日に行われました。これは、JICAとNHKが企画した「パプリカを歌おう」というもので、東邦高校からは国際探究コース、ダンス部、軽音楽部の生徒合計100人(うち軽音楽部は42人)が参加し、東ティモールの小学校とオンライン(リアルタイム)で国際交流を行いました。内容は以下のようなものでした。

各国ホストあいさつ／団体紹介(東ティモールの小学校、国際探究コース、ダンス部、軽音楽部)／各国紹介(東ティモール、日本)と愛知県の紹介／質問コーナー／東ティモールの小学生による民族衣装での伝統的なダンスとパプリカ／東邦高校のパプリカの創作ダンスと現地語によるバンド演奏／記念写真(オンライン上)

東ティモールと日本は時差がなく、土曜日の午後にお互いに有意義な時間を持つことができました。途中、オンライン通信が途切れるなどありつつも、この日のためにお互いに練習を重ねてきた成果を出すことができました。参加した生徒も教職員も「ほっこりとした」気持ちで交流を深めることができ、幸せな気持ちを味わいました。

100人の生徒が参加した「パプリカを歌おう」

真に信頼して事を任せうる人格の育成

サッカー部顧問　澤田　洋平

日頃からサッカー部の活動にご理解ご協力誠にあり

年間行事（2021年度）

8月 インターンシップ、夏期補習（後期）、ＰＴＡ委員会

9月 始業式、面接週間、インターンシップ報告会、実力考査（全学年）、学級懇談会（３年）、学園祭（体育祭、文化祭）

10月 中間考査、プレゼンテーションコンテスト、美術科卒業制作展

11月 学級懇談会（１、２年）、修学旅行、芸能鑑賞（１年）、期末考査

12月 慰霊の日、学級懇談会（３年）、終業式、冬期休暇

1月 始業式、面接週間、ＰＴＡ委員会、学年末考査（３年）、実力考査（１、２年）、マラソン大会

2月 修学旅行（人間健康コース）、予餞会

3月 卒業式、学年末考査（１、２年）、実力考査、終業式

※今後、コロナウイルス等の影響により変更になる可能性があります。

がとうございます。私たちサッカー部は部員55人で活動を行っております。毎朝、他のどのクラブよりも早く練習を開始し、互いに厳しい要求をし合い、日々鍛錬を行っております。また、グラウンド内外で人間力を磨き、「さすが東邦生」と言われるような校訓を体現できるような高校生になるよう、選手・スタッフ一同精進していきます。

“サッカーは少年を大人にし、大人を紳士にするスポーツ”と諸先輩方から私どもは指導を受けております。少しでも洗練された東邦生になれるよう、研鑽に努めてまいります。今後とも応援宜しくお願い致します。

さらなる高みへ！　＝覚悟と徹底＝

硬式野球部　３年マネージャー　袴田　笑美

硬式野球部は、３年生20人、２年生24人、１年生25人、マネージャー18人の計87人で活動しています。

今年も、新型コロナウィルスの影響で、練習試合が思うようにできる環境ではありませんでした。しかし、部員は１日１日を大切に、練習の質を高め、試合に取り組みました。それでも春の県大会では、悔しい思いを経験しました。しかし、お互いに支え合うことで苦難を乗り越えることができました。夏のシード権を勝ち取った後、より練習に奮起する部員の姿を見て、マネージャーも気が引き締まりました。

３年生部員にとって、高校野球最後の夏を迎えます。甲子園出場、そして、全国制覇を果たし、みんなが笑顔で大会を終えられるよう、マネージャーも全力でサポートに努めます。ご声援、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

インターハイへの想いをつなぐ

空手道部顧問　二村　智代

１年ぶりのインターハイ予選は昨年度の３年生の想いと、OB・OGの先輩方が築き上げてくださった伝統をつないでいく大会となりました。

男子個人形で石川真矢が自分の力を最大限に発揮し、また女子個人組手で村木瑠璃乃が最後まで自分を信じて戦い抜きインターハイ出場を決めました。残念ながら、団体でのインターハイ出場は逃しましたが、石川・村木がインターハイ出場を決められたのは目標を共に戦う仲間がいたからだと確信しております。また、自分自身に正直に、甘えを許さないことが強くなり成長できることだと感じました。

インターハイ29年連続出場を達成

インターハイ連続出場を29年という記録をつなぐことができました。この結果に満足することなく、さらに強くなっていきます。最後になりましたが、いつも空手道部をご支援いただき、ありがとうございます。今後もチーム一丸となって精進して参ります。今後とも空手道部を宜しくお願い致します。

足るを知る者は富む

茶華道部顧問　平岡　広子

東邦高校茶華道部を指導してくださっている竹内紹敬先生（写真前列中央）が掛け軸に書かれた「知足」という言葉についてお話をしてくださいました。

「知足」とは、足るを知る者は富むという老子の言葉です。足りていることを知る者は豊かであり、足りていることがわからない者は、どんなに『もの』があっても心が豊かにならない、という意味です。ものとはお金とか物質的なモノではなく、自分が感じ取れるもののこと。今自分にある『もの』を見つめ直して大切なものとは何かを考えてみる。それを見出すことは大変なことだが必要です、と教えていただきました。

部の活動はこのコロナ禍で、グループ毎のお稽古です。昨年は文化祭も中止となって日ごろの成果を発表する機会も、協力して乗り切る経験もできませんでした。しかしながら、心を落ち着かせ、今ここにいることが、すでに足りていることであると感謝しお稽古に励んでいます。

売木村・愛知東邦大学の「学び合い協働事業」

経営学部准教授　今瀬　政司

清水村長とともに「地域振興論」の授業を進める今瀬准教授（4月29日、B201教室で）

「小さくてもキラリと光る村づくり」について講義する清水村長

授業初日は鵜飼裕之学長、榊直樹理事長も聴講しあいさつ

本学では、教育理念として、「（略）本学園建学の精神『真に信頼して事を任せうる人格の育成』に基づく人間教育を行い、広い教養と深い専門知識を授けるとともに、（略）地域社会の発展に貢献し得る有為な人材を育成すること」を教育目的に掲げています。

この理念のもと、2021年４月、「売木村・愛知東邦大学 学び合い協働事業」をスタートさせました。長野県売木村の「地域人材育成・地域活性化」と本学の「教育・地域貢献」を目的にして、次の３つの「学び合い」事業を「協働」で行うものです。

１つ目の事業は、売木村寄附講座「地域振興論」です。前期15回、売木村で地域振興に取り組む複数の実務家講師が、本学教員（今瀬）とともにオムニバス形式で順番に様々なテーマで実践的な講義を行っています。

売木村講師は、村長、村議会議長、村役場職員、地域づくり団体、企業、地域おこし協力隊、総務省地域力創造アドバイザー等の12人です。各講師による講義後、学生たちは、「売木村の方々の熱心でユニークな取り組みにびっくりしました」「自然豊かな売木村を訪れてみたい」といった感想や売木村を活性化させる様々な提案メッセージをレポートに執筆しています。

２つ目の事業は、「売木人財発掘・学び合いプロジェクト」です。夏期・後期集中講義「専門プロジェクトⅡ」として、売木村で合宿して（「東邦学園うるぎ山荘」宿泊）、調査研究や実践活動等を行うものです。

売木村住民等の方々の顔写真や仕事・生活写真等を撮影して、「売木村の希望」の言葉を聞き取り、整理・編集を行って、様々な媒体で情報発信を行う予定です。売木村内と本学キャンパスの両方で成果報告会も開催予定です。売木村の住民や売木ファン等が一層互いに知り合い、「学び合う」きっかけを作ることで、人材の育成・発掘や地域活性化の一助になることを期待しています。

３つ目の事業は、愛知東邦大学「売木村公開講座」です。本学教員（今瀬）が売木村に出張して、売木村住民の方々への「公開講座」を開催するものです。売木村の今後の防災対策を目的にして、「全国各地の災害避難・救援の教訓からの学び」（仮題）をテーマに11月開講を予定しています。

売木村は、信州最南端で愛知県豊根村に接する標高約800mにある盆地で、人口約550人ののどかな山里です。本学では、これまで売木村との間で、本学吹奏楽団コンサート、マラソン大会「うるぎトライアルRUN」等イベント協力、調査研究・政策提案など様々な連携事業を行ってきました。

2021年度に新たに開始した本事業では、新型コロナウイルス感染拡大により柔軟な変更対応が求められることもありますが、事業成果が売木村住民と本学学生の双方にとって実りあるものとなるように努めていきます。事業の詳細は、今瀬研究室ホームページ（http://sicnpo.jp/imase-aichi_toho/）で随時更新発信しています。

海外交流協定校（中国）から複数学位取得を目指す留学生たち

国際交流センター　安井　文康

本学では３年前から海外交流協定校（中国）の編転入学プログラムを実施しています。参加している留学生たちは自国の在籍校で３年生前期まで過ごし、本学の海外交流協定校３年次編・転入学試験を受験します。そして３、４年生を本学の留学生として過ごし本学の卒業要件の単位を修めます。そして2.5年＋２年の計画で自国在籍校の学位取得と本学の学士学位という２つの学位取得を目的として来日します。このように複数学位取得を目的としているため学業に向き合う志はとても高く皆が日々真面目に取り組んでいます。

現在は経営学部の受け入れのみの実施です。2020年度は中国の広東省と浙江省より13人が編・転入学のため４月には来日する予定でしたがその

成田国際空港に到着した留学生たち(2020年12月18日)

頃から世界各国で出入国制限が実施されコロナの影響が本格的となっていました。そこで国内学生と同じくオンライン授業の準備をしましたが、中国は独自の通信制限があるため異なるオペレーションでの実施をせざる得ませんでした。

「後期が始まるころにはきっと渡航も再開されるだろう」と、期待をしつつ経過しましたが一向に渡航が再開される見通しはつきませんでした。そんな環境でもこの13人がどうにかモチベーションを維持できたのはそれぞれの科目担当の先生方が学生たちと限られた環境の中で、誠心誠意向き合ってくださった賜物であったと思います。

そして昨年の12月、ほんの一瞬ですが外国人留学生の入国が緩和された時期がありました。そのわずかな期間で入国することとなりました。年末年始の冬休みを自主隔離期間として過ごし2021年１月６日に約９か月遅れの入学セレモニーを実施いたしました。

ちなみにこの留学生の言語力ですがJLPT（日本語能力試験）のＮ１が８人、残りの５人がＮ２を日本入国前にすでに取得していました。

また来日してから各自がTOEICの公開テスト（L&R）を積極的に受験しており本年５月のテストでは最高スコアが865点をはじめ、790、745、そして600点台に数名と英語力も非常に堪能です。

そして現在、2021年度編・転入生の８人はまだ入国の目途は立っておらず昨年と同様に４月よりオンライン授業を開始しています。しかし昨年の経験から、改善点を見出しオペレーション上で大きく進化を遂げることが出来ています。

現在は現４年生の留学生と研究生の日本人学生のグループがSA(Student Assistant)となり、オンライン上で現地学生たちとのコミュニティを作り、日本語を忘れないように、あるいは日本留学へのモチベーションを維持させるために週２回、様々なオンラインイベントの企画実施をしてくれています。

留学生たちの半数以上は卒業後このまま在留を希望し日本の大学院へ進学する希望を持っています。そのため毎日遅くまでゼミの先生から個別指導を受けている様子を見受けます。昨今の国際社会を見れば様々な問題があり、日中関係、また米中関係はとても冷え込んでいます。しかしながら、個々の留学生たちはそんなことはまったく関係なく純粋に自身の将来に向けて着々と努力を重ねています。そんな彼らの姿勢が、他の学生たちの良い刺激となることを期待します。

オンラインで来日予定の後輩たちを励ます留学生たち

大学／行事・クラブ活動

愛知教育大学と「教員養成の高度化に関する連携協定」を締結

愛知東邦大学は愛知教育大学と「教員養成の高度化に関する連携協定」を結び、２月16日、刈谷市の同大本部で連携協定締結式を行いました。

協定書に署名した榊学長と野田学長

締結された連携協定は①愛知教育大学は愛知東邦大学の学生のうち、教員免許取得予定者で、教員を志す卒業見込みの者に対して、教職大学院における特別選抜を実施する②愛知東邦大学の学生は、愛知教育大学の行う教職大学院の行事や取り組み等に参加することができる③愛知教育大学と愛知東邦大学は、教職大学院に関わる教員の人事交流を行うことができる――の３項目が主な内容です。

締結式では榊直樹学長と愛知教育大学の野田敦敬学長が協定書に署名しました。

野田学長は「協定により、愛知東邦大学に入学して教員免許を取得した学生が、本学大学院に進学し、高度な教員になっていただく実績を重ねていければと思っています」と、榊学長は「教育の現場を目指す学生がより高度なキャリアアップができるようになると期待しています」とあいさつしました。

２年ぶり卒業式を学部ごとに開催

2020年度卒業証書学位記授与式が３月18日、体育館で行われ、259人が母校に別れを告げました。2019年度は新型コロナウイルス感染拡大が始まり、卒業式は中止となったため、式典開催は２年ぶりでした。式典は午前10時から教育学部（卒業生57人）、午後０時半から人間健康学部（95人）、同３時から経営学部（107人）の順に行われました。

榊直樹学長は「コロナ禍で、自ら暮らすだけでも精一杯であり、利己的、自己中心的に向かいがちな時代ですが、他人の幸せを第一に考える生き方を心に深く留めてください。建学の精神を忘れずに、真の信頼と真面目を旨とする生き方を通じ、心豊かな人間社会の築き手になってください」と式辞を述べました。

入学式も２年ぶりに挙行 ３学部で新入生が決意を「宣言」

2021年度入学式が４月２日、体育館で行われました。コロナウイルス禍、２年ぶりの開催となりましたが、感染防止のため、教職員のみの参列による学部ごとの開催となりました。式典の様子は、参列できない家族や、中国で待機中の編入学予定学生らのために大学ホームページでライブ配信されました。

新入生は360人（教育学部68人、人間健康学部136人、経営学部148人、編入生８人）。式典は午前10時から教育学部、午後１時から人間健康学部、同３時から経営学部の順に行われました。

鵜飼裕之学長は式辞で、２年後に100周年を迎える東邦学園が、明治期から大正期にかけて、中部産業界のリーダーでもあった下出民義によって、「真に信頼して事を任せうる人格の育成」を建学の精神に掲げて創立された歴史を紹介。「建学の精神を受け継ぎ、きらりと光る独創性を如何なく発揮し、人材育成と学術で地域社会の活力を生む創発大学として新たな時代を切り拓いていきます」と愛知東邦大学の長期ビジョンを語り、各学部新入生たちに激励のエールを送りました。

各学部で、それぞれ在学生代表が歓迎の言葉を贈り、新入生を代表してスポーツ・音楽推薦入学者の３人が学生生活への決意を「宣誓」しました。

教育学部代表・近藤木菜美さん（吹奏楽団）

中学生でサックスという楽器に出会い、吹奏楽を通して音楽活動を続けてきましたが、昨年度はコロナウイルスの影響で、所属していた楽団の練習や公演はすべてなくなりました。何も出来ないことがこんなにもつらいことなんだと実感しましたが、全国各地の演奏家の方々と一つの曲を仕上げる「テレワーク演奏会」に参加しました。吹奏楽団員として、「TOHO MARCHING BAND」の一員として、よりよい音楽を世界中に届けます。

年間行事（2021年度）

8月 前期末試験・夏期休暇（8／11～9／15）、オープンキャンパス、教員免許状更新講習、インターンシップ

9月 幼稚園教育実習、後期講義開始

10月 教育懇談会

11月 保育所実習、大学祭（和丘祭）

12月 保育所実習、冬期休暇（12／25～1／6）

1月 後期講義終了、後期末試験

2月 後期末試験、就職合宿、卒業研究発表会、春期休暇（2／4～3／31）

3月 卒業証書授与式、学内企業展

※今後、コロナウイルス等の影響により変更になる可能性があります。

人間健康学部代表・沖田有由さん（女子サッカー部）

新型コロナウイルスの流行は私たちの生活様式に大きな変化をもたらしましたが、この大学で、新たな時代を切り拓く力を身につけていきたいと思います。勉学はもちろんのこと、女子サッカー部の一員として、自分自身を鼓舞する力を身に着けます。これまでのサッカー人生で、一度も日本一という頂に立てなかった悔しさをバネに、必ず「大学日本一」を成し遂げ、この愛知東邦大学に新たな歴史を刻みます。

経営学部代表・木野智尋さん（硬式野球部）

入学前、コロナ禍の１年で、当たり前と思っていたことが、決して当たり前ではないということを実感しました。小さいころから甲子園出場が、自分にとっても家族にとっても最大の夢でしたが、戦わずして夢を叶えることができませんでした。「コロナ世代」とも呼ばれる私たちですが、優しさやたくましさも手に入れた気がします。入学式を共に迎えた仲間を大切にし、誇りをもって卒業していける世代でありたいと思います。

教員めざす人間健康学部新入生に卒業生が応援メッセージ

人間健康学部では、教員をめざして入学してきた新入生たちに向けた、今春卒業生たちの応援メッセージを動画にまとめ公開しました。同学部の2020年度の免許状取得者は10人。そのうち専任教員として１人、常勤講師として４人の採用が決まりました。

メッセージは、卒業式後に行われた教員免許状授与式に参加した卒業生たちから新入生たちに送られた応援エールを収録したものです。前期授業の進展に合わせて新入生たちに視聴してもらう予定でしたが、対面授業が足踏み状態でもあり、一足先に４月中旬から公開を始めました。

読谷村奨学生1号の島袋さんが卒業を前に総括報告会

愛知東邦大学と沖縄県読谷村が提携した包括連携協定に基づき制定された「読谷村村長推薦者特別奨学生」の第１号学生である経営学部地域ビジネス学科４年の島袋泰志さんが、卒業式を前にした３月13日、４年間

の総括報告会を行いました。榊直樹学長や学生たち約25人が参加したB101教室での報告会はオンライン中継され、読谷村の石嶺傳實村長ら同村関係者、大学関係者も含め計40人近くが島袋さんの報告に耳を傾けました。

学生時代を寮（ラーニングハウス）で過ごし、寮長も務めた島袋さんは30分近いプレゼンで、ゲストハウス運営など寮活動を通しての成長、読谷村でのUターンプログラム体験、村長推薦者として取り組んだ学会発表など、インターンシップ活動を契機に、読谷村の株式会社「ナノベーション」への入社が決まった経緯などを紹介。「学生時代に積み重ねてきたものは、社会で戦える“武器”となった」と振り返りました。

硬式野球部　春季リーグは2位で終了

愛知大学野球春季２部リーグが５月９日で終了し、Aリーグの愛知東邦大学は７勝３敗の２位でシーズンを終えました。最終の第５週で星城大に２連勝しましたが、通算成績で星城大の８勝２敗に及ばず、１部リーグ昇格をかけたプレーオフ進出はなりませんでした。

愛知東邦大は５月１日に行われた第３週延期分の愛知大戦に１－11（７回コールド）で敗退し５勝３敗となり、この時点で8勝0敗の星城大の１位が決まりました。８、９日に行われた星城大との直接対決で連勝し、昨

年秋１位の意地を見せましたが、あと１勝が悔やまれる結果となりました。

田中洋監督は「１、２年生中心のチームで戦ったが、自分の采配が及ばず残念な結果になってしまった。若い選手たちには経験としてプラスになったはずで、必ず成果として現れるので期待してほしい」とシーズンを振り返りました。

森田泰弘総監督も「けが人が出たり、投手陣のつまづきもあり残念なシーズンではあったが、１、２年生の成長は今後につながるはず」と話しています。

学園の人事構成

【2021年6月1日現在】

本年度の学園の人事構成は下記の通りです。

◆理事・監事・評議員

理　事　長：榊　直樹
理　　事：鵜飼　裕之、藤本　紀子
　中山　孝男、佐々木泰裕
　山田　博子、舩木　恵一
　加藤　明彦、志村　進
　大河　哲男
監　　事：長沼　均俊、鈴木　基仁
評　議　員：舩木　恵一、丸岡　利則
　堀　篤実、袴田　克彦
　山田　博子、岡本　洋美
　水谷　光博、齊藤　卓也
　戸谷　正行、佐長谷和恵
　大河　哲男、東　良一
　池田　憲幸、今井　久嗣
　丁　潔、岡部　年彦
　加藤　雄次、大矢　郁夫
　鵜飼　哲矢、杉﨑　正美
　元松　茂

◆法人事務局

法人事務局長：長沼　英樹
法人事務局次長：堀田　時弘
スポーツ文化振興局長：石渡　靖之
内部監査室長：堀田　時弘

以下大学同役職兼ねる
新たな百年事務局・
　広報室事務長：齋藤　周一
総　務　課　長：二宮加代子
経　理　課　長：堀田　時弘
学術情報課長：新村　健

◆大学

学　　長：鵜飼　裕之
副　学　長：舩木　恵一
学長補佐：中山　孝男
〃　：上條　憲二
〃　：杉谷　正次
経営学部長：田村　豊
経営学部長補佐：深谷　和広
地域ビジネス学科長：深谷　和広
国際ビジネス学科長：田村　豊
人間健康学部長：丸岡　利則
人間健康学部長補佐：西尾　敦史
教育学部長：堀　篤実
教育学部長補佐：伊藤　龍仁
学術情報センター長：髙木　靖彦
地域・産学連携センター長：上條　憲二
教職支援センター長：辻　正人
保健・学生相談センター長：渡辺　弥生
キャリア支援センター長：手嶋　慎介
国際交流センター長：鵜飼　裕之
地域創造研究所長：上條　憲二
入試委員長：杉谷　正次
教務委員長：西尾　敦史
学生委員長：新實　広記
教養教育運営委員会：鵜飼　裕之
自己点検・評価委員長：中山　孝男
人事委員会：鵜飼　裕之
研究活動委員会：丸岡　利則
研究倫理委員会：丸岡　利則
FD・SD委員会：西尾　敦史

◆大学事務局

大学事務局長：長沼　英樹
事　務　長：藤井　玲子
入試広報課長：三輪　哲也
入試広報課長補佐：松井　慶太
教務課長：富田　敦史
学生・キャリア支援課長：柴田千登勢
学生・キャリア支援課長補佐：藤川　久孝
地域・国際交流課長：貫名　正樹
地域・国際交流課長補佐：安井　文康

◆高等学校

校　　長：藤本　紀子
教　　頭：岡本　洋美
〃　：大上　雄示
特任教頭：渡邉　素幸
校務部長：志水　和史
教務部長：宮田　賢二
生活指導部長：松永　早苗
広報企画室長：平上　純一
進路指導主事：保坂　秀和
国際交流室長：伊藤　保憲
メディア情報センター長：齊藤　卓哉
保健指導主事：船水　昭宏
生徒会正顧問：水谷　陽子
学年主任第1学年：木庭　伸耶
学年主任第2学年：吉山奈緒子
学年主任第3学年：小嶌　大介
学科主任美術科：加藤　広士
コース責任者文理特進：中　健人
コース責任者人間健康：木下　達生
コース責任者国際探究：伊藤　保憲
教科主任　国語科：高橋　東子
〃　社会科：田村　友一
〃　数学科：山田　剛司
〃　理　科：若山　大樹
〃　保健体育科：澤田　洋平
〃　芸術科：小塚　康成
〃　英語科：長野　達也
〃　家庭科：田中　瑞穂
〃　情報科：小嶋　裕人

◆高校事務部

事務部長：袴田　克彦
事務部副部長：阪口　将史
〃　：山田　智代

2020年度の寄付金受け入れ状況

2020年度のご寄付は、皆さまから総額5,390万6千円をいただきました。誠にありがとうございました。一般寄付（使途を限定しない寄付）、特別寄付（使途を限定した寄付）に分かれており、それぞれ寄付に込められた趣旨を十分踏まえつつ、大学と高校の教育活動支援に充てさせていただきました。内訳についてご説明申し上げます。

◆学園に対する寄付について（1,900千円）

学校法人東邦学園に対し、特に使途を指定しないものとして学園全体の教育活動に使う一般寄付金としていただきました。大学・高校に応分に配布し、学生・生徒への日常の教育活動経費に充当させていただきました。

◆愛知東邦大学・東邦高等学校に対する寄付について（3,290万6千円）

・教育研究支援資金として、大学後援会や卒業生から寄付をいただき、大学の教育活動経費に充当させていただきました。
・2020年度は新型コロナ感染症拡大を受けて、アルバイトなどで生計を立てていた大学生への経済的支援を行うため緊急支援金を給付しました。その原資に充てるための寄付をいただきました。
・大学・高校の施設設備を充実させるため、同窓会などから支援の寄付をいただきました。

◆ 周年事業に対する寄付について

「100周年事業計画」に盛り込まれる具体的な内容の実現のために使用させていただきます。

スポーツ・文化振興局

2020年度～2021年度前半の活動実績

2020年度より開設されたスポーツ・文化振興局は、以下２点を主な目的として活動しています。

(1) 東邦学園のクラブ(大学硬式野球部、大学男女サッカー部、高校硬式野球部、高校サッカー部)及びTOHO MARCHING BAND(TMB)の強化に努め、知名度の向上及び全国大会レベルでの活躍を支援する。

(2) 東邦学園地域スポーツクラブを統括・運営し、スポーツや健康増進の面から地域との連携を進め、ブランド化の一翼を担う。

上記の目的に基づいて、以下のとおり昨年度からの実績を報告いたします。

(1) クラブ等の活動支援

▽2020年度大会等結果

大学硬式野球部　秋季２部リーグ１位、１部２部入替戦１勝２敗で敗退

大学男子サッカー部　東海２部リーグ４位

大学女子サッカー部　インカレ東海大会３位、東海リーグ１部３位

高校硬式野球部　秋季県大会２位、秋季東海大会２回戦敗退

高校サッカー部　選手権大会愛知県大会３回戦敗退、県１部リーグ４位

▽2021年度大会等結果(５/31現在)

大学硬式野球部　春季２部Aリーグ２位

高校硬式野球部　第71回愛知県高等学校優勝野球大会春季地区予選名古屋地区　優勝

県大会　準々決勝敗退

高校サッカー部　県総体準決勝敗退

(2) 地域との連携による知名度の向上

【TMB】

９月21日(月・祝)　ブラスバンド&吹奏楽　プールサイド演奏会　@ラグナシア

10月18日(日)　「Big Festival前夜祭」パレード

11月１日(日)　NAGOYA BRASS WORLD2020栄まちじゅう音楽広場

11月３日(火・祝)　秋の藤が丘大文化祭「あおぞら音楽祭」

11月３日(火・祝)　BIG FESTIVAL2020

11月７日(土)　セントレア スカイ マーチング フェスティバル 2020

11月11日(水)　栄町商店街イルミネーション点灯式

11月21日(土)　名古屋グランパス教育連携事業「TOHO観戦day」

５月２日(日)　愛西マーチングバンドBLOWING発表会ゲスト出演

５月９日(日)　poproom COCORISE kamiyama 合同運動会 アトラクション出演

１部リーグ昇格をめざし、石渡総監督のもと練習に励む大学男子サッカー部

【サッカー部】

３月10日(水)～13日(土)　大学サッカースプリングカップ2021の開催(男子サッカー部)

３月25日(木)～28日(日)　愛知・三河ユースサッカースプリングカップ2021の開催(高校サッカー部)

【野球部】

７月４日(日)～８月31日(火)　第１回東邦学園杯学童野球大会の開催

【東邦学園地域スポーツクラブ】

▽2021年度教室・スクールの開講

・体操教室(毎週月曜18：00～19：00)

・TOHO Ladies. Football Academy(毎週月・木曜17：30～、土・日曜16：00～)

・お気楽ヨガ(毎週月曜13：15～14：15)

・お気楽太極拳体操(毎週火曜14：00～15：00)

・ふまねっと運動(隔週木曜13：15～14：15)

・座ったまま運動(隔週木曜13：15～14：15)

フレンズ・TOHO定例総会を11月に延期

例年6月中旬に行っている、東邦学園フレンズ・TOHOの年次総会等の行事につきましては、新型コロナ感染症拡大のため、愛知県内に緊急事態宣言が発令されていた状況を受け、今年11月5日(金)に延期をすることにしました。

昨年は総会や懇親会も中止となり、唯一開催した講演会もオンライン方式となり、会員相互の交流が満たされませんでした。新型コロナ感染症が早期に収束する事を祈念いたします。

卒業生家族への育英奨学金制度のご案内

邦友会事務局

大学同窓会「邦友会」では、東邦学園短大を含めた卒業生の家族(子弟や兄弟姉妹)である愛知東邦大学学生を対象にした給付型の育英奨学金(５万円)を募集しています。勉学・課外活動に積極的に参加し、就学の意思がある学生を応援する奨学金で返済は不要です。

受給資格は、愛知東邦大学の学生であり、卒業生との関係が父母または兄弟姉妹であることを証明するだけです。採用は１人１回(在学中に１回)、給付金は５万円です。定員がありますのでお早めにお申し込みください。ご家族に東邦学園短期大学、愛知東邦大学(東邦学園大学を含む)の卒業生がいらっしゃいましたら一度お問い合わせください。東邦高等学校卒業生は対象外となります。

教職員の方で、対象となる(なるかもしれない)学生に心当たりがありましたら、学生へのお声掛け、または事務局にお知らせください。

お問い合わせは、邦友会事務局の稲垣(大学総務課)か学生・キャリア支援課にお願いいたします。

学園史に残したい写真を探しています

新たな百年事務局・広報室では2023年の東邦学園100周年記念事業の一環として、写真を中心に学園の100年を振り返る「東邦学園100年史」刊行の準備を進めています。学園史に残しておきたい写真や刊行物などをお持ちで御貸しいただける方を探しています。新たな百年事務局・広報室までご一報下さい。

新たな百年事務局・広報室
new100@aichi-toho.ac.jp
☎052-782-1965

◆新制東邦高校・中学の入学案内

6・3・3制の新学制スタートにより、新制東邦高校と東邦中学校も赤萩校舎で開校しました。1953年度受験生用の入学案内には「経営　学校法人下出教育財団」と「名古屋市東区赤萩町２ノ５」の所在地、電話番号が記載されています。高校の募集定員は普通科200人、中学校は100人。赤萩校舎の写真も盛り込みながら、学園の特色として、公立学校の教育が、「ややもすれば､画一的な単なる知識の注入に終わっている」と指摘「今や新学制は実施せられ、若き次代を担う青少年の理想の学園として大きな希望を持たれております」とアピールしています。

入学案内では「理想の総合学園」として東邦夜間商業高校、東邦保育園も紹介しています